

県政報告

小島すすむ

2019年秋冬号
新潟県議会報告
〈新潟市秋葉区〉

発行 小島すすむ事務所
新潟市秋葉区南町9-1
TEL・FAX 0250-25-3400

ごあいさつ

度重なる台風による豪雨で関東、東北では甚大な被害が発生し、県内においても土砂災害、家屋の浸水、農林水産物などに被害が出ております。生命を守るためには、いち早く安全な場所への避難が重要です。新潟県は、県内全域の洪水・土砂災害・津波などのハザードマップを閲覧する機能などを有する、新潟県公式アプリ「新潟県防災ナビ」の運用を開始しましたので、是非ご活用をお願い致します。

さて、突然、新潟県の歳入不足により財源対策的基金が2年後にも枯渇するという厳しい財政状況の見通しが示されました。花角知事は「歳出歳入改革のなかで、県民の皆様到我慢をお願いすることもある」とのコメントも出されました。また、これに伴い行財政改革行動計画も策定され、県議会9月定例会でも多くの議員がこの財政危機問題や県立病院問題を取り上げ、私も知事に対し、財政危機を招いた経緯、再発防止対策、県立病院のあり方、医療格差を出さないための対策について質問を致しました。新潟県の財政を危ぶむ意見は過去から当時の知事に対し出されていましたが、結果として、現在の財政危機を招いてしまったことは、議員として反省をしなければなりません。今後、同じような事を引き起こさないためにも、原因の究明、再発防止策を県民に示すことが急務であります。今後も持続可能な新潟県となるよう、希望と安心の新潟県づくりに取り組んでまいります。

新潟県議会議員 小島すすむ



9月定例会にて 一般質問



- 会 派：未来にいがた
- 常任委員会：建設公安委員会
- 特別委員会：新総合交通・防災対策特別委員会

9月定例会一般質問(抜粋)

1. 県の財政課題について

質問 泉田知事時代の夢おこし政策プランの評価の際、人口減少対策の取組は「やや遅れている」と評価された。このことから、本県の人口減少は進み、地方交付税の減額は予想できたと考える。また、2013年度以降、県税収入の伸びが全国を下回っていることを踏まえれば、楽観的な県税収入の見通しを適宜修正するなど、歳入の見込みを見直すべきだったと考えるが、なぜそれができなかったのか。

答弁 歳入の見通しについて、当時の判断としては、国の経済対策等の施策とも連動し、県の施策が最大限効果を発揮すれば、景気が浮揚し成長が実現できるものとして、毎年国が発表する「中長期の経済財政に関する試算」における経済再生ケースの経済成長率等を参考に見込んできたものと認識している。

質問 知事は記者会見において、今、過去がどうだったという議論をしても生産的ではないと述べているが、県民に我慢をお願いするほどの財政悪化を起こした原因について究明し、同じことを起こさない再発防止対策も示すべきと考えるが。

答弁 指摘のように、財政悪化の原因をしっかりと究明し、同じことを起こさないように対策を講じていくことは重要であり、必要であると考えている。

足元で急激に財政状況が悪化したのは、2015年度以降、全国を上回る人口減少に伴う地方交付税の減少や、制度改正による電源立地交付金の減少等の様々な要因が重なり、一般財源歳入総額が大幅に減少したことが大きな要因と考えており、今後の財政運営上の大きな悪化要因として、公債費の実負担額の増加があるが、本来、公債費に対する地方交付税措置率の見直しによる将来的な実負担額の増加に備え、早くから資金手当債を含む地方債の発行抑制に取り組むべきであった。県として将来の見通しが十分ではなかったと認識している。今後は同じことが起こらないように、より堅実に収支を見通しつつ、毎年度検証していくことで、歳入規模に見合った歳出構造への転換を着実にし、持続可能な財政運営を行っていく。

質問 厳しい財政事情とはいえ、県民所得の向上には先行投資も必要と考える。新潟県総合計画の中でも県内産業の付加価値を上げるための施策が盛り込まれているが、県民所得の向上のため、どの分野を優先的に伸ばしていくのか。

答弁 新潟県総合計画に掲げられた航空機や次世代自動車、健康・医療・福祉といった成長が期待される分野はもとより、県内にある多様な産業集積や優れた技術を活かしながら、様々な産業分野やビジネスで成長する可能性がある。様々な産業分野において、それぞれの企業の持つ技術やノウハウを活かしたイノベーションや、新たな事業領域へ挑戦する方々を後押しし、稼げる企業をより多く輩出することにより、県民所得の向上を図っていく。

2. 県立病院について

質問 公立病院は毎年度、多額の赤字が発生していると言われており、また、地方独立行政法人を含めた公立病院の2017年度の繰入金の合計額は決算ベースで8,083億円に上っている。こうした状況から、公立病院の赤字は本県だけの問題ではなく、地域医療を維持するための構造的な問題であると考えているが。

答弁 公立病院は、離島・へき地等における医療や、救急・精神などの不採算・特殊部門に関わる医療、民間では限界のある高度医療の多くを担っている。これらの政策医療に係る経費については、地方公営企業法や総務省の繰出基準に基づき、一般会計が負担すべきものとされている一方で、公立病院については、可能な限り効率的な経営を行い、収支の均衡を図ることも求められているものと考えている。

質問 地域医療を県立病院に頼っている地域においては、県立病院のあり方次第では、医療格差が生じ、行政の主命題である「住民の生命を守る」ことができず、さらに人口減少と相まって、住みたい地域で住み続けられないことになる。知事は、地域で住みたいと思う人が住み続けられるよう、必要な支援に取り組むと言っているが、地域医療を県立病院に頼っている地域における県立病院の必要性について、知事の所見を伺う。

答弁 今後、人口減少や医師不足など医療環境の変化に対応し、県民が安心して安全に暮らせる県づくりを進めていくためには、地域で必要とされる持続可能な医療提供体制を確保していくことが何より重要である。しかしながら、県立病院を取り巻く医療環境は大変厳しく、危機的な経営状況にあり、県立病院が果たすべき役割・機能にも支障を生じかねない状況にあり、県としては、県立病院経営委員会の提言や行財政改革行動計画等を踏まえ、県立病院が果たすべき具体的な役割・あり方や機能・規模などについて検討するとともに、県立病院を含め、地域の基幹的な病院と他の医療機関との連携を深め、相互補完の中で地域の医療ニーズに地域内で応えられる体制づくりに取り組んでいく。

* 質問内容は紙面の関係で一部抜粋の掲載となっておりますが、新潟県議会ホームページには質問の動画がご覧頂けます。



建設公安委員会県内視察



2019各地区県政報告会



2019.9月定例会街頭県政報告



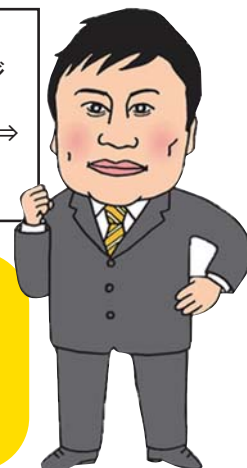
小島すすむ県議会議員 各地での「県政報告会」「街頭県政報告」「視察」活動等

小島すすむ県議会議員の主な活動

2019年

5月3日	秋葉区成人式	9月9日～	会派（未来にいがた）県外視察（青森県）
5月10日	臨時議会	9月10日	新潟県都市計画審議会
5月16日	国営土地改良事業 新津郷阿賀野川左岸地区推進協議会総会	9月14日	県政報告会 （荻川地区コミュニティセンター）
5月20日	臨時議会	9月16日	新津近郷少年野球選手権大会
5月29日～	会派（未来にいがた）県外視察（島根県）	9月16日	天皇皇后両殿下下行幸啓に係る特別奉迎
5月31日	日韓親善協会定期総会	9月16日	国民文化祭にいがた・全国障害者芸術文化祭にいがた開会式
6月2日	新潟市消防団秋葉方面隊連合消防演習	9月21日	県政報告会 （金津地区コミュニティセンター）
6月7日	秋葉区献血推進協議会総会	9月24日～	9月定例会
6月13日	新総合交通・防災対策特別委員会	9月25日	県政報告会（山谷二三丁目公会堂）
6月14日	新潟県戦没者追悼式	9月28日	手をつなごう愛の大運動会
6月18日～	6月定例会	9月29日～	新津商工会議所古川会頭叙勲を祝う会
6月29日～	大郷橋架け替え促進協議会総会	10月3日	県政報告会（小須戸まちづくりセンター）
7月10日	金津白玉の滝開き		
7月15日	新津近郷少年野球選手権大会		
7月24日	新潟県日口親善協会総会		
8月16日	新津松坂流し		
8月17日	新津荻川ライオンズ旗争奪少年野球大会		
8月22日	新総合交通・防災対策特別委員会		
8月26日	国道403号線整備促進期成同盟会		
9月2日～	建設公安委員会県内視察 （村上市、新潟市）		

○議会議事録は、
新潟県のホームページ
から検索できます。
新潟県ホームページ ⇒
新潟県議会 ⇒
会議録の検索と閲覧



皆さまのご意見をお寄せください。

◆小島すすむ事務所◆ 〒956-0032 新潟市秋葉区南町9-1
TEL/FAX 0250-25-3400 E-mail info@kojima-susumu.jp
ホームページ http://kojima-susumu.jp face book 「小島すすむ事務所」
自宅 〒956-0806 新潟市秋葉区みそら野2丁目4-12 TEL/FAX 0250-23-0155
*この議会報告の発行には政務活動費を使用しています。